

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(ECB <欧州中央銀行> 理事会)

〇概況

- ◆ ECBは3年半ぶりに中銀預金金利を0.1%引き下げ、▲0.5%とした
- ◆ 同時にQE再開や中銀預金金利の階層化等の緩和パッケージを発表
- ◆ 一方、金融政策の限界が示唆されたことで、市場の反応はやや失望的

✓ 9月12日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、5つの緩和パッケージが発表された。

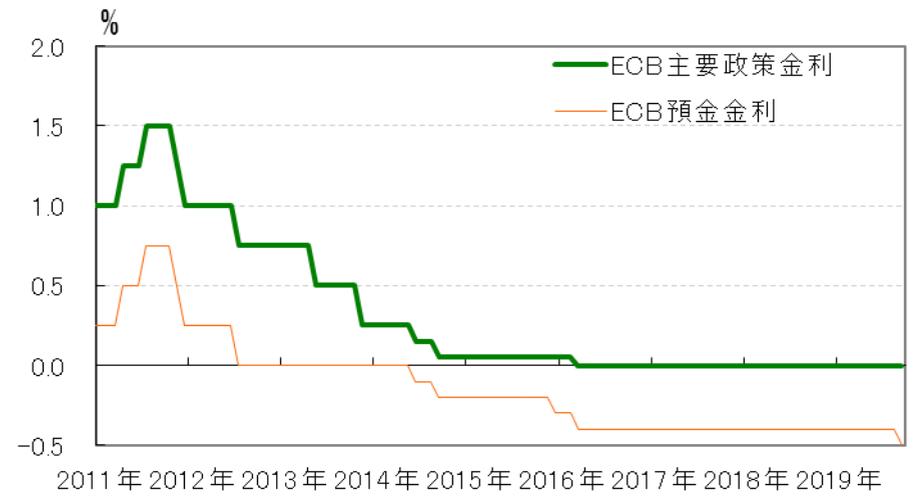
- ① **中銀預金金利を0.1%引き下げ▲0.5%とした。**主要リファイナンス金利は0.00%、中銀貸出金利は0.25%で据え置き。
- ② **量的緩和（QE）再開。**11月より200億ユーロ/月の資産買入を利上げ直前まで実施。
- ③ **満期を迎えた債券の償還金に関して、長期間の再投資を継続。**
- ④ **9月開始の長期リファイナンスオペ（TLTRO3）の条件緩和。**0.1%の上乗せ金利を撤廃、融資期間を2年から3年に延長。
- ⑤ **中銀預金金利に2段階の階層化を導入。**準備預金の一部がマイナス金利適用除外となることで、マイナス金利の副作用に配慮した。

✓ フォワードガイダンス（将来の金融政策方針）について、政策金利を「20年前半まで維持する」を削除し、「**インフレ目標の実現がしっかりと見通せるまで**」に強化された。

✓ ドラギ総裁は記者会見にて、「**ユーロ圏の長期にわたる弱さが増している**」とした。また「**需要を喚起するには（金融政策ではなく）財政政策が主要な手段となるとの見解で一致した**」とした。

✓ 市場予想を上回る緩和パッケージの発表に欧州金利、ユーロは一旦下落したものの、金融緩和の限界が示唆されたことや、QE再開が満場一致ではなかったこと等から、その後上昇した。

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（9月時点）】

	2019年	2020年	2021年
実質GDP成長率	+1.1	+1.2	+1.4
6月時点の見通し	+1.2	+1.4	+1.4
HICP（消費者物価）	+1.2	+1.0	+1.5
6月時点の見通し	+1.3	+1.4	+1.6

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。